

雪解け期ソヴィエト映画と ジョージア（グルジア）映画スタジオ

ミハイル・コバヒゼの作品を中心に

日時 2019年5月10日（金）17:00～20:00頃

場所 東京大学文学部二番大教室

講師 アレクサンドル・カルトージア教授

使用言語 ロシア語・通訳付き

ソ連のなかでも独自の映画世界を展開したジョージア映画スタジオ（グルジア・フィルム）。表現の自由がある程度認められた雪どけの時代には特色ある作品が多く制作された。

あえて短編サイレント映画というジャンルで映画表現を極めようとしたミハイル・コバヒゼの作品を鑑賞しつつ、ジョージアの映画文化について考察する。

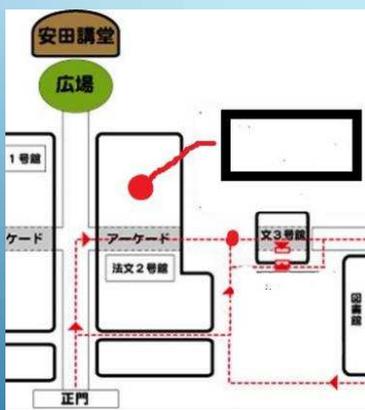


『結婚式』1964



『音楽家たち』1969

【講師紹介】 アレクサンドル・カルトージア
ジョージア（グルジア）国立トビリシ大学人文学部教授
ヨーロッパ大学フランクフルト・オーダー校文化学部客員教授。
専門はコーカサス文化論およびドイツ言語文学（言語学・翻訳論）
1990年代にジョージア国立図書館長およびジョージア
共和国教育文化相を歴任
2018年度学術振興会外国人短期招へい研究員として
東京大学大学院人文社会系研究科に研究滞在中。



【共催】

東京大学大学院人文社会系研究科・文学部スラブ語スラブ文学研究室／科研基盤(B)18H00655
「ロシアとコーカサスの文化接触による相互変容のダイナミズム」／国際共同研究強化
(B) 18KK0008「多言語多文化芸術運動としてのトビリシ・アヴァンギャルドの歴史的資料調査と考察」

【問い合わせ】

slav.lecture@gmail.com (楯岡)